

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成29年11月17日

施設名	こうち男女共同参画センター	所管課室	文化生活スポーツ部 県民生活・男女共同参画課
-----	---------------	------	---------------------------

1 施設の概要

指定管理者名	公益財団法人こうち男女共同参画社会づくり財団	指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
施設所在地	高知市旭町三丁目115番地		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 男女共同参画の推進に関する情報の収集及び提供 2 男女共同参画の推進に関する調査研究 3 男女共同参画の推進に対する県民の理解を深めるための広報及び啓発 4 男女共同参画の推進に関する講演会、講習会、研修会等の開催 5 男女共同参画を推進する人材の育成 6 女性問題の解決その他男女共同参画の推進に向けた相談 7 男女共同参画の推進に資する活動を行う団体等の相互交流の促進及び自主的活動への支援 8 その他センターの設置の目的を達成するために必要な業務 		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p>館の概要 敷地面積 2,267.81㎡、建築面積 1,619.08㎡、 延床面積 4,974.09㎡ 鉄筋コンクリート造、南棟5階、北棟3階（平成10年10月竣工）</p> <p>入所機関貸施設等 高知県消費生活センター、ひとり親家庭等就業・自立支援センター他 創作実習室・大会議室・研修室(3室)・調理実習室・和室(2室)・視聴覚室・ レクリエーション室・コインロッカー</p> <p>休館日 第2水曜日、国民の祝日及び年末年始 開館時間 土・日・月以外の日は午前9時～午後9時、土・日・月は午前9時～午後5時</p>		
職員体制	常勤職員： 4人 非常勤職員： 7人 合計： 11人		

2 収支の状況（実績は、管理代行料に基づく。）

単位：千円

		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）
収入	県支出金	58,570	61,220	63,907
	使用料・手数料	11,058	10,516	10,579
	その他	1,009	998	942
	収入計 (a)	70,637	72,734	75,428
支出	事業費	13,369	13,437	15,000
	管理運営費	27,493	28,435	29,629
	人件費	29,548	31,040	30,729
	支出計 (b)	70,410	72,912	75,358

3 利用状況

	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（目標）
①年間利用者数（単位：人）	70,519	69,903	目標は設定していない
②利用者意見等の反映	<p>利用者アンケート等の実施状況（時期・方法・回答数・調査結果）</p> <p>○施設利用者アンケート 【実施期間】 H28年12月1日～平成29年1月15日まで</p> <p>【対象】 期間中施設を利用する貸室利用者及び託児室、図書室、グループ交流室、印刷室の利用者</p> <p>【方法】 貸室利用者に対しては、鍵を渡す際にアンケート用紙を手渡し。託児室、図書室、グループ交流室、印刷室には用紙を置いて自由に記入していただいた。団体単位でなく、個人単位で回答していただくようにし、利用団体には参加者2～3人に回答を依頼した。 受付前、託児室、グループ交流室、印刷室に回収箱を設置し、随時回収した。</p> <p>【回答数】 204件（配布数230枚、回収率87%）</p> <p>【評価（満足・ほぼ満足の割合）】 ※（ ）は前年度評価割合 ・職員の対応・接客： 93.2%（91.0%） ・施設の清掃状況： 94.6%（91.0%） ・備品の充足度・使い勝手： 97.3%（93.1%） ・利用者の年代で最も多いのは60代で全体の25%、最も少ないのは20代以下で全体の5% ・利用頻度については、68.7%が毎月利用 ・今後の利用については、99.0%が今後も利用すると回答</p> <p>【改善を求めるもの】 ※（ ）は前年度件数 ・施設利用に関すること： 30件（29件） ・利用料金に関すること： 20件（6件） ・駐車場に関すること： 16件（43件） ・備品に関すること： 14件（24件） ・清掃に関すること： 12件（15件） ・職員の対応・接遇に関すること： 12件（9件） ・施設の設備に関すること： 9件（9件） 等</p> <p>○講座・講演会アンケート 【時期・方法】 講座・講演会の開催時に、参加者にアンケート用紙を配布（10点評価での満足度を調査。42事業）</p> <p>満足度 ※（ ）は前年度点数 ・平均： 8.7点（8.9点） ・最高： 9.6点（9.8点） ・最低： 7.0点（7.2点）</p> <p>○利用者意見等を踏まえた対策 ・支払方法については、振込が可能となるようシステム改修をはじめ、実現に向けて必要な準備を検討する。 ・駐車場については、大会議室利用時はイオンに相談できる旨を周知し、利用者の利便性を高めていく。 ・清掃については、担当者に丁寧な清掃を心がけてもらうとともに、職員も館内の汚れに注意を払い、清掃担当者とともに改善に努める。 ・設備については、貸室内で無線LANが使用できるようになれば利便性が向上するため、今後導入を検討する。</p> <p>・運営委員会（2回開催）メンバーとして、利用団体（5名）、女性団体（3名）、大学・教育関係（3名）、NPO（1名）、行政（2名）に参画いただき、センターの運営や事業に対する意見を反映させている。</p>		

③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none">• 託児室内のトイレを子ども専用トイレから大人兼用トイレに改修し、利便性を向上。(H25)• ソーレ主催の講演会や講座等の際の託児サービスの提供(29講座、利用者:167名)• 男性相談の実施日の増加(H26～ 月2日→3日)• 駐車スペースの確保(H24～ 館東側で新たに6台分、H26～ さらに1台分追加)• 主催事業実施時の駐車場への警備員配置• H29. 7月からFacebookを開設
-----------------	--

4 平成28年度業務評価

項 目	評価できる取組等	改善すべき課題
① 適正な管理運営の確保に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・設置目的に従って、公益的な視点から適切な管理運営ができています。 ・研修に積極的に参加し、情報共有がされている。 ・複数の業者から見積もりを取るなどの方法により、経費の削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員のスキルアップにつなげるため、研修等で学んだ内容の情報共有。 ・個々のスキル等に合わせた職員研修の実施。 ・施設の整備、修繕等がスムーズに行えるよう、県・市の協力が必要。
② 施設利用の促進に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・大学と連携するなど、男性や若い世代をターゲットにした事業を積極的に展開している。 ・多様な層にアプローチすることで、利用者層が拡充されている。 ・ホームページのリニューアルやアンケート内容の見直しなどの改善ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な層をターゲットにした情報発信。 ・危機管理についての点検、充実を引き続き行うこと。 ・貸出図書の利用件数減少に関し、取組が必要。 ・WIFIの設置。 ・さらにホームページを更新し、新しい情報を提供すること。
③ 男女共同参画推進のための事業展開に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・重点課題を設定し、取り組むことができている。 ・託児サービスを充実させている。 ・関心の高い講師を招致している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性や若年層の利用者を増やすための分析や広報の強化。 ・事業の実施が目的化することなく、成果イメージを明確化すること。 ・連携エリアを広げ、近隣以外の小学校や高等学校、専門学校など、連携先を増やすよう努力してほしい。
④ 指定管理期間内での達成目標に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を意識した取組が行われ、概ね目標が達成できている。 ・参加者数も増加し、満足度も高いところは評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標数値だけでなく、目指すべき社会、状態を明確にし、そのビジョンを持つことが必要。
⑤ 管理代行料に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料収入が計画を上回り、収入源が確保できている。 ・当初計画になかった改修を実施するなど、剰余金を有効に利活用している。 ・経費削減に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・独自事業や災害対策に充当できるだけ財源確保。 ・さらに工夫をし、利用料収入の増加や、経費削減の取り組むこと。 ・施設の整備、修繕等がスムーズに行えるよう、県・市の協力が必要。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の課題に積極的に取り組み、ホームページのリニューアルや出前講座による情報提供など、活動の充実に努めている。 ・多彩な事業を実施できており、今後若い世代や男性の参加者が増加するよう、地域の広がりを進めながら、継続的に取り組んでほしい。 ・目指す成果、効果を明確化し、そのための事業企画と展開方法、他機関との連携協働のあり方等について今後検討されたい。 ・これまでの取組を漫然と継続することなく、新しい流れ、視点や過去に指摘を受けて改善した点を常に意識しながら取り組みを進めてほしい。

- 【評価の目安】 A: 事業計画書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね事業計画書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 事業計画書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの